



J.LEAGUE MEDIA GUIDE 付帯資料 報道関係者SNS利用ガイドライン

2026年9月11日現在
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

1. はじめに



SNSの普及によって、コンテンツホルダー（リーグ・クラブ）も、メディアも多様なメディアから多彩な情報を発信することが求められる時代になっています。

SNSによる個人の情報発信が当たり前となり、とりわけ特別な体験を発信することへの価値が高まり、来場者（観客）にとってもスタジアムでのSNSによる情報発信は、来場者満足度を高める要因にもなっています。

Jリーグは、Jリーグ取材をするメディアならではの発信によって、より多くの情報を発信し、多様な層へ情報を届けるため、**2024シーズンよりテレビ番組公式SNS（番組公式SNS、出演者SNS）や、メディア個人の情報発信に対して、新たなルールを設けました。**

2. 前提



■個人SNSへの投稿を認めることについて

2023シーズンまではADコントロール下で撮影された写真・動画をSNSへ投稿することは不可としていましたが、

2024シーズンよりメディア向けに新たなルールを設定し、個人の楽しみの範疇での撮影・投稿を可としている一般来場者向けのガイドラインを一部取材者に適用し、取材者個人SNSアカウントによる写真投稿を認めることとしました。

ただし、2024シーズン以降も、SNSアカウントへの投稿のみを目的とした試合取材は引き続き不可となります。

■テレビ番組公式SNSへの写真投稿について

映像取材のみを可としているテレビ局に対し、充実したコンテンツと多様な層への情報発信を目的に、番組公式SNSへの写真掲載を一定条件のもと可とします。

■写真撮影を可とする時間帯・場所について

スタジアムに来場するメディアの主目的は取材活動であるため、写真撮影を可とする時間帯・場所は、試合中などの取材活動時間を除く時間帯・場所が対象となります。特にミックスゾーン・記者会見場は、限られた場所・時間で多数のメディアが等しく取材する場とするため、スポーツ報道を目的とした取材活動を優先する場所とし、SNS投稿のための写真撮影は原則不可となります。

3. 2024シーズンからの新しいルール



以下の2つの項目について、2024シーズンより新たなルールを設定します。

試合会場における

- 1. 取材者個人SNSアカウントによる投稿
- 2. テレビ番組公式SNSアカウント（出演者SNSアカウント含む）による写真撮影および投稿

対象	利用可能プロパティ※		
	記事	写真	動画
主たる媒体を補完するメディア	○	取材が許可されたメディアは可	×
取材者個人SNSアカウント	○	一部可 (新規ルール - 1)	×
テレビ番組公式SNSアカウント (番組出演者個人アカウント含む)	○	一部可 (新規ルール - 2)	×

3-1. 取材者個人SNSアカウントによる投稿（共通）

1. 対象

取材者個人（記者、フォトグラファー、TVクルー）のSNSアカウント

2. 撮影・掲載を許可するプロパティ

- 写真の撮影と掲載
- 撮影した写真については「Jリーグプロパティ利用規程」が適用される
- ※動画の撮影と掲載は不可
- ※動画を静止画にした利用は不可

3. 撮影機材

- スマートフォンによる撮影のみを可とする。
 - 記者による写真撮影のためのスチールカメラの持ち込み（カメラの大小に関わらず）、および撮影可能エリアへスチールカメラ取材者を帯同させることは不可とする。
- ※スマートフォンの扱いについては「4. スマートフォンの扱いについての補足」参照

3-1. 取材者個人SNSアカウントによる投稿（共通）

4. スマートフォンの扱いについての補足

- スマートフォンは「通信機器」であることが前提で、カメラは付随機能という位置付け。
- SNSへの写真撮影・投稿にあたっては「取材が許可された撮影機材」とみなさない。

5. プロパティの利用について

- 試合会場における取材者個人SNSアカウントによる投稿は、スタジアム来場者（観客）に適用する
「Jリーグ公式試合における写真・動画のインターネット上での使用ガイドライン」を、取材申請が承認されたメディアに一部適用することが前提となる。
- 撮影された写真の売買や投稿による収益化は不可とする。
- Jリーグが許諾すること、しないこと、その他の注意事項等については、
「Jリーグ公式試合における写真・動画のインターネット上での使用ガイドライン」に準ずる
<https://www.jleague.jp/guidelines/>

3-1. 取材者個人SNSアカウントによる投稿（ペン記者）



6. 撮影を許可する場所、時間帯

- 場 所: 記者席
- 時間帯: 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後

【許可されない撮影場所、時間帯】

- 選手入場から試合終了までの間（ハーフタイム除く）の撮影
※この時間帯は取材活動中とみなすため
- 記者席以外のスタンド（客席）、その他観客エリアでの撮影
- 記者以外の職掌の取材者（フォトグラファー、TVクルーカメラマン）が、撮影のために記者席に立ち入っての撮影
- 記者席以外のADコントロール下にある場所（諸室やスタジアム内導線、ADコントロール外でも関係者以外は立ち入れない場所）での撮影

3-1. 取材者個人SNSアカウントによる投稿（カメラ取材者）



6. 撮影を許可する場所、時間帯

- 場 所: ・フィールドレベルにおける
フォトグラファー撮影エリア
テレビ局レポート取材（立ちレポ）
実施可能エリア
- 時間帯: ・試合開始前、ハーフタイム、試合終了後

【許可されない撮影場所、時間帯】

- 選手入場から試合終了までの間（ハーフタイム除く）
の撮影 ※この時間帯は取材活動中とみなすため
- フィールドレベル以外のADコントロール下にある場所
（諸室やスタジアム内導線、ADコントロール外でも関係
者以外は立ち入れない場所）での撮影

※スタジアム外周取材時にSNS投稿をする場合の撮影場所、
時間帯はホームクラブの取材ルールに従う。



3-2. テレビ番組公式SNSアカウントによる写真撮影・掲載



1. 対象

テレビ番組公式SNSアカウント

番組出演者個人のアカウントも可。ただし、出演者本人のアカウントであることが明確であること。
また、番組名、番組指定のハッシュタグの記載を必須とする。

2. 撮影・掲載を許可するプロパティ

- 写真の撮影と掲載
- 撮影した写真については「Jリーグプロパティ利用規程」が適用される
- ※動画の撮影と掲載は不可
- ※動画を静止画にした利用は不可

3. 撮影機材

- スマートフォンによる撮影のみを可とする。
- 写真撮影のためのスチールカメラの持ち込み（カメラの大小に関わらず）、
および撮影可能エリアへスチールカメラ取材者を帯同させることは不可とする。
※スマートフォンの扱いについては「4. スマートフォンの扱いについての補足」参照

3-2. テレビ番組公式SNSアカウントによる写真撮影・掲載



4. スマートフォンの扱いに関する補足

- スマートフォンは「通信機器」であることが前提で、カメラは付随機能という位置付け。
- SNSへの写真撮影・投稿にあたっては「取材が許可された撮影機材」とみなさない。
- 試合の撮影、記者会見、ミックスゾーンでのインタビューなどの取材活動を行う際に、スマートフォンを使用する場合は、動画・静止画に関わらず、撮影機材とみなす。
- 1クルーが取材に使用できるカメラの台数は、取材枠で認められたカメラ台数範囲内とする。
(1クルー4名の取材が許可された場合は、カメラは1台。4名のクルーがそれぞれスマートフォンで撮影することはできない。)

5. 肖像の範囲

- 番組出演者のみ。選手、チームスタッフ、その他の関係者は対象外。
- 観客は群衆肖像（撮影時の背景の客席スタンド等）のみとし、個々の顔がわかるような撮影は不可とする。
- スタンドなどが映り込み、観客の顔が判別できる場合は、判別できないように加工して掲載する。

3-2. テレビ番組公式SNSアカウントによる写真撮影・掲載



6. 撮影を許可する場所、時間帯

- 場 所: フィールドレベルにおける
テレビ局レポート取材（立ちレポ）
実施可能エリア
- 時間帯: 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後

【許可されない撮影場所、時間帯】

- 選手入場から試合終了までの間（ハーフタイム除く）
の撮影 ※この時間帯は取材活動中とみなすため
- フィールドレベル以外のADコントロール下にある場所（諸室やスタジアム内導線、ADコントロール外でも関係者以外は立ち入れない場所）での撮影

※スタジアム外周取材時にSNS投稿をする場合の撮影場所、時間帯はホームクラブの取材ルールに従う。



3-3. 2024シーズンからの新しいルール（まとめ）



対象	必須要件	撮影可能な場所	撮影可能な時間帯	備考	利用可能プロパティ		
					記事	写真	動画
取材者個人アカウント (記者)	匿名アカウント不可	・ 記者席	・ 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後	記者席以外のスタンド（客席）への立ち入りは不可	○	スマホ撮影 写真のみ可	×
取材者個人アカウント (カメラ取材者)	匿名アカウント不可	・ フィールドレベルの ゴール裏、バックスタ ンド側	・ 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後	・ 撮影エリアは「立ちレ ポートエリア」に準ずる ・ 試合中のSNS投稿目的 撮影は不可	○	スマホ撮影 写真のみ可	×
テレビ番組 公式SNSアカウント	番組名、番組指定の ハッシュタグの記載 を必須とする	・ フィールドレベルの ゴール裏、バックスタ ンド側	・ 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後	・ 撮影エリアは「立ちレ ポートエリア」に準ずる ・ 試合中の撮影は不可	○	スマホ撮影 写真のみ可	×
テレビ番組 出演者個人アカウント	番組名、番組指定の ハッシュタグの記載 を必須とする	・ フィールドレベルの ゴール裏、バックスタ ンド側	・ 試合開始前、ハーフタイム、試合終了後	・ 撮影エリアは「立ちレ ポートエリア」に準ずる ・ 試合中のSNS投稿目的 撮影は不可	○	スマホ撮影 写真のみ可	×

【注意】 ●アカウント種別に関わらず、ADコントロール下にある場所（諸室やスタジアム内導線、ADコントロール外でも関係者以外は立ち入れない場所）での撮影は、不可。

●スタジアム外周取材時にSNS投稿をする場合は、撮影場所、時間帯はホームクラブの取材ルールに従う。

●選手入場から、試合終了後までの間（ハーフタイムは除く）＝「試合」。「試合」は取材活動中とみなし撮影不可。

3-4. U-21 Jリーグ 記者取材のみに適用のルール【2026年追加】



■基本的な考え方

- U-21 Jリーグにおいて、[一般入場者のSNS掲載ガイドライン](#)を一部緩和（試合中の動画は合計10分まで、試合終了後にSNS投稿が可能）
- メディアの場合、SNS投稿用の撮影は取材活動とは分けて考え、各メディア露出につながる取材活動を優先
- （取材活動に直結する）試合中および試合後の記者会見、ミックスゾーンにおけるSNS投稿用の撮影は不可。それ以外のシーンは1試合あたり10分までの動画や、画像のSNS掲載が可能。試合中の公開も可
- フィールドレベルで撮影を行うフォトグラファー、TVクルーには上記U-21用のルールは適用されない

3-4. U-21 Jリーグ 記者取材のみに適用のルール【2026年追加】



■U-21 Jリーグとその他公式試合の違い

記者取材／ADコントロール内におけるSNS投稿用素材撮影の場合

※赤字がU-21のみ適用となる差分

※動画のSNS投稿は1試合あたり10分まで

U-21 Jリーグ

シーン	画像	動画
ウォームアップ	可	可
選手入場～記念撮影（キックオフまで）	可	可
試合中	不可	不可
ハーフタイム	可	可
試合後(記者席からの撮影)	可	可
試合後(記者会見、ミックスゾーン)	不可	不可

Jリーグ公式試合（リーグ戦、リーグカップ戦など）

シーン	画像	動画
ウォームアップ	可	不可
選手入場～記念撮影（キックオフまで）	不可	不可
試合中	不可	不可
ハーフタイム	可	不可
試合後(記者席からの撮影)	可	不可
試合後(記者会見、ミックスゾーン)	不可	不可

4-1. よくある質問



対象	質問	回答
共通	試合以外の動画をSNSに掲載することはできますか。	ADコントロール下において撮影された映像は、試合、試合以外に関わらず、媒体を問わず不可となります。
共通	スタジアム内の音声をSNSに掲載することはできますか。	ADコントロール下において録音された音声は、試合、試合以外に関わらず、媒体を問わず不可となります。
テレビ番組 公式アカウント	スマホ以外で撮影した写真の掲載はできますか。	テレビクルーの皆様には動画撮影のみを可としているため、スチール撮影機材での写真撮影は不可となります。 あくまで通信機器の付随機能を使用した撮影を許可しているため、スマートフォン以外での撮影は不可となります。
個人アカウント	スマホ以外で撮影した写真の掲載はできますか。	個人の楽しみの範疇での撮影・投稿を可としている一般向けガイドラインを一部取材者に適用するため、取材機材を用いた写真の投稿はできません。
個人アカウント	個人のSNS掲載目的のみでも試合取材ができますか。	個人SNSアカウント掲載目的のみ場合は取材不可となります。 Jリーグ試合取材要項で定める各職掌の対象メディアへの露出が前提となります。
U-21 Jリーグ	公式試合（リーグ戦、リーグカップ戦など）とU-21 Jリーグで異なるSNS投稿ガイドラインを設けているのはなぜですか。	U-21 Jリーグは2026/27シーズンに設立したリーグであり、メディアの皆様のSNS投稿も含めて認知拡大を行っていきたいと考えております。ライツホルダーの観点でも規制を緩和する形で実施可能となったため、異なるガイドラインを設けています。
U-21 Jリーグ	一般入場者は試合動画のSNS投稿が10分まで認められているのに、メディアは認められていないのはなぜですか。	記者席は試合を記者の皆様にご確認いただき、スポーツ報道に繋げていただくことを目的に提供しているスペースであり、試合中のSNS用撮影は当該目的に適しておらず、また他メディアの取材の妨げとなる可能性もあるため、認めておりません。
U-21 Jリーグ	試合後の記者会見、ミックスゾーンでのSNS用撮影が認められていないのはなぜですか。	記者会見、ミックスゾーンでは各職掌（記者、フォトグラファー、TVクルー）ごとに取材位置を定めた上で運用を行っており、主目的である取材活動に支障が生じる可能性があるため、記者の撮影はご遠慮いただいております。

■附則

- ・本ガイドラインは2024年2月5日より適用する

■改正

- ・2026年9月8日（P13-P15にU-21 Jリーグ記者取材のみに適用するルールを追加）

本件に関するお問い合わせ：

公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 広報部

E-mail: mediach@j-league.or.jp